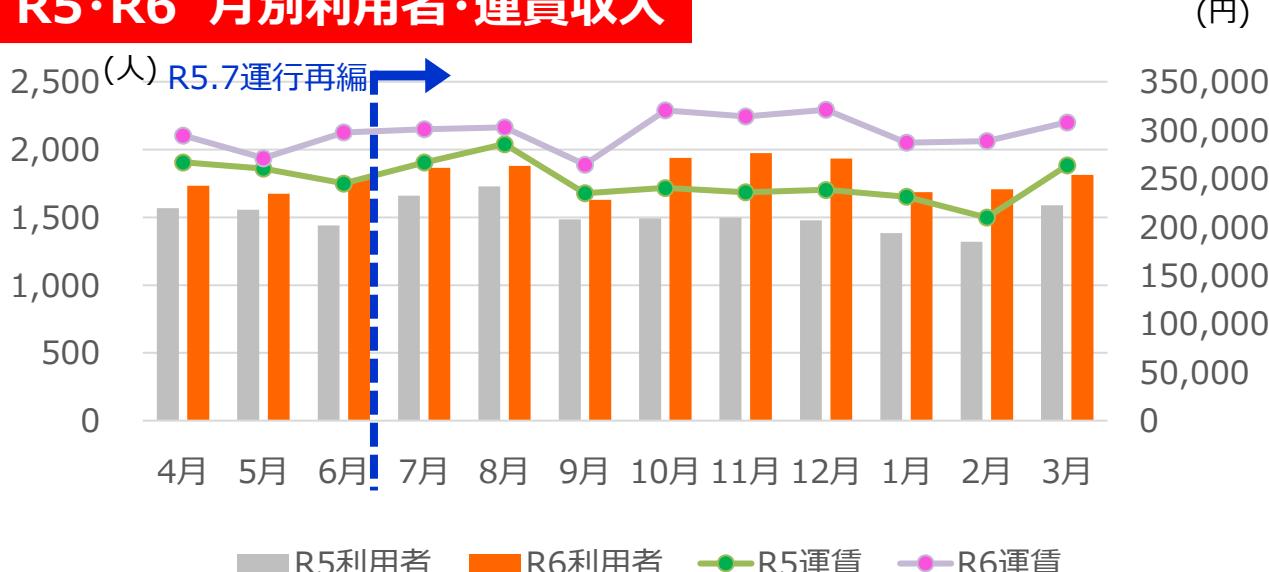


R5・R6 月別利用者・運賃収入



R6 運賃支払方法

スマホ決済 3%

回数券
14%

現金 45%

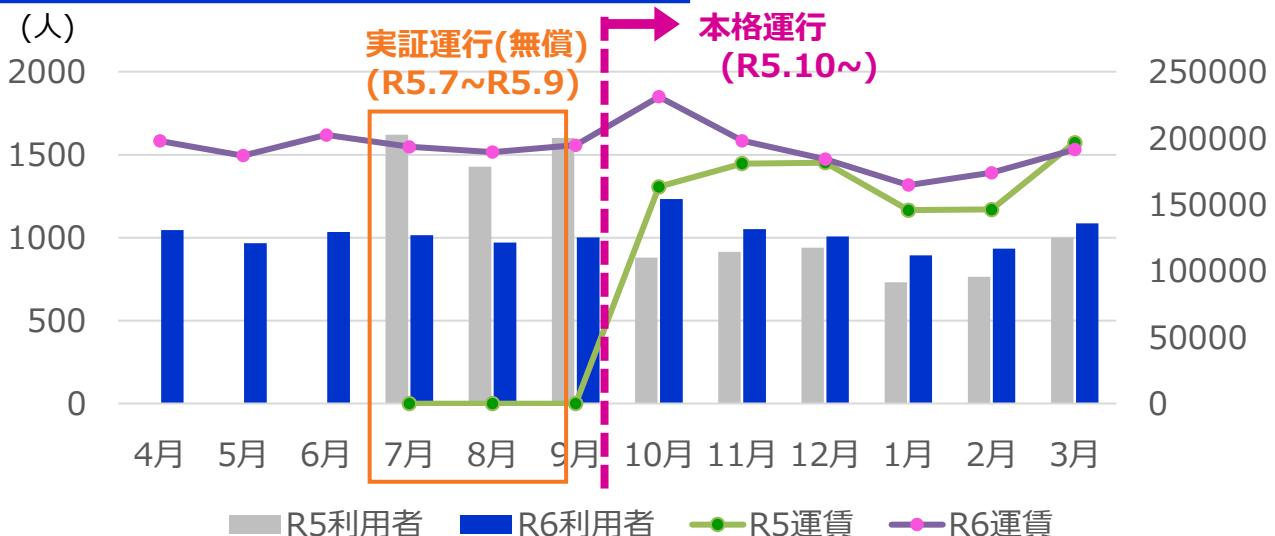
ICカード 38%

概要

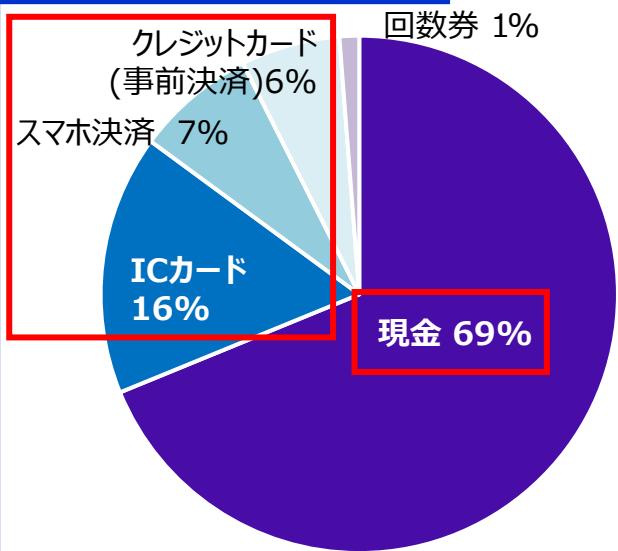
- R5年度とR6年度を比較し、すべての月で利用者数、運賃収入ともに前年度を上回る実績となっている。
→R6.4月以降に新たに通勤利用者が増加したことが要因である。
- 運賃支払方法は現金とICカードで83%を占め、回数券も14%利用されている。
- 地元区からの要望により、R7.4/1から運行再編を実施。さらなる利用促進に取り組む。

広陵元気号の利用状況を含む公共交通施策の現況について（のるーと広陵元気号）

R5・R6 月別利用者・運賃収入



R6 運賃支払方法



	R5利用者	R6利用者	対前年比較
4月		1,047	
5月		967	
6月		1,034	
7月	1,620	1,016	-37%
8月	1,427	970	-32%
9月	1,602	1,002	-37%
10月	880	1,233	+40%
11月	915	1,052	+15%
12月	940	1,008	+7%
1月	731	893	+22%
2月	765	934	+22%
3月	1,002	1,086	+8%
合計	9,882	12,242	+24%

	R5運賃	R6運賃	対前年比較
4月		197,920	
5月		186,810	
6月		202,390	
7月	0	193,530	
8月	0	189,470	
9月	0	194,710	
10月	163,330	231,230	+42%
11月	180,880	198,040	+9%
12月	181,530	184,270	+2%
1月	145,730	164,740	+13%
2月	146,200	174,000	+19%
3月	196,610	191,430	-3%
合計	1,014,280	2,308,540	+228%

概要

- 本格運行以降、R6.10が最大の利用
者数・運賃収入となっている。
→行楽シーズン・イベントが要因
- R6年度は1日当たり利用者が約34人（R5.10月からR6.3月までは約19人）であり、利用者が定着してきている。
- 運賃支払方法は現金が約70%、キャッシュレス（ICカード・スマホ決済・クレジットカード）決済が30%である。
- 現在、平日に利用が集中し、休日（土日祝日）に予約枠の空きがあることから、利用促進に取り組む。

目的

本事業は、公共交通ネットワーク充実のため、コミュニティバス等の既存公共交通を利用できない方を対象として、タクシーを利用する基盤づくりを行うことを目的としています。

令和6年10月から実証実験として、妊産婦を対象に妊婦健診時等に使用できるタクシーチケットを交付しています。

チケット交付については、「広陵町DX推進計画」(令和6年3月策定)に基づき、デジタル化を推進するため、タクシーアプリを提供するGO(株)と協定を締結し、GOチケット機能を活用しています。また、町内に拠点を置く(株)愛和とも協定を締結し、電話配車対応や専用車両の準備などにも協力いただき実施しています。

実証実験 内容

【対象者】：令和6年度中に妊娠届出をし、母子健康手帳を交付した**妊産婦の方**

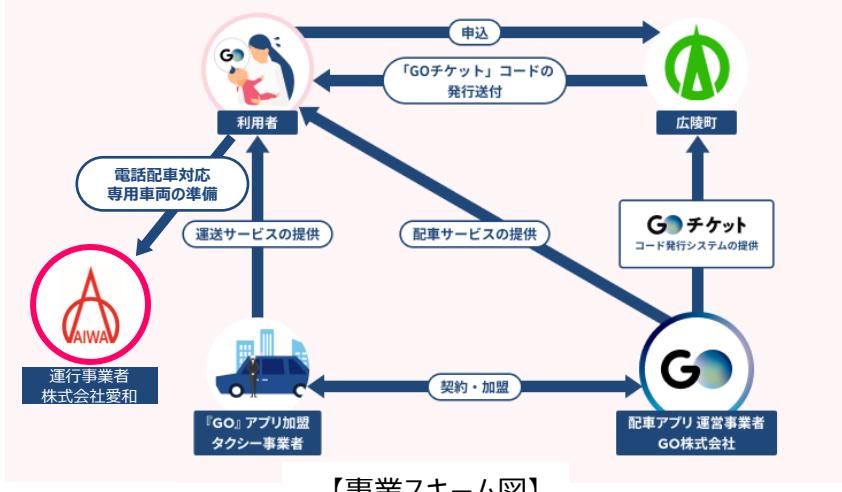
【助成内容】：・**500円**のGOチケットを**12枚**(申請の翌月から**6か月分**)

- ・事前登録した**自宅、駅、病院間**の移動に使用可能
- ・原則、GOアプリでの配車が対象だが、運行状況によりアプリ配車ができない場合は、町内交通事業者の(株)愛和へ電話配車が可能
- ・GO加盟タクシーに乗車し、料金精算時にGOチケットを使用

【申請方法】：母子健康手帳交付時、必要事項を入力し、町へ電子申請



【GOチケット画像】



【事業スキーム図】

利用実績 (R6.10~R7.3)

【申請者】：35人

【利用者】：4人

【利用枚数】：9枚

(内訳)

林産婦人科 7枚

SACRALレディースクリニック2枚

※利用された方は妊娠後期の方が多く、自身で移動が困難であることが想定できる。

今後の予定

・令和7年9月末まで、実証実験期間とし、利用促進を引き続き実施する。

・令和8年4月から、本格導入に向け、利用実績等の分析を実施予定。

広陵元気号の利用状況を含む公共交通施策の現況について(陣痛タクシーサービス事業)

目的

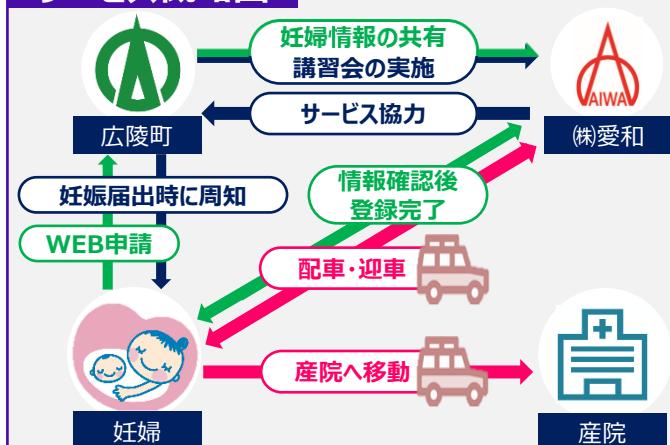
本事業は、「こどもまんなか」の取組を推進するに当たり、妊婦の陣痛時の移動の不安を解消し、安心して子どもを産み、子育ての喜びを実感することができる地域づくりの一助となることを目的とし、公共交通及び子育て施策として実施します。なお、本事業は令和6年9月27日に締結した「広陵町と(株)愛和との交通施策に関する連携協定」に基づき、(株)愛和の全面協力のもと実施するものであり、自治体と交通事業者との連携事業としては、奈良県で初の取組となります。

陣痛タクシーサービスの内容

令和7年5月16日現在の登録者数：17人

- 【対象者】** 広陵町に在住または出産のために広陵町に里帰りしている妊婦
- 【運行時間】** 午前7:00から午後9:00まで
- 【運行エリア】** 出発地は広陵町に限定し、送迎先は県内の産院に限定
- 【登録方法】** 妊婦が町へWEB申請。(株)愛和から妊婦へ電話による聞き取り後登録完了
- 【利用料金】** 登録料は無料。移送に係る料金は、タクシー運賃+迎車料金150円
- 【講習会】** 町助産師による乗務員への講習会を実施
- 【周知方法】** 妊娠届出時の案内や町広報紙、ホームページ等で広く周知
- 【運行車両】** トヨタルーミー(防水シート・タオル、必要な場合はチャイルドシートも準備)

サービス概略図



産婦へのニーズ調査

【調査方法】 新生児訪問時に助産師による聞き取り調査
【回答者】 179人(R5.12月～R6.11月)

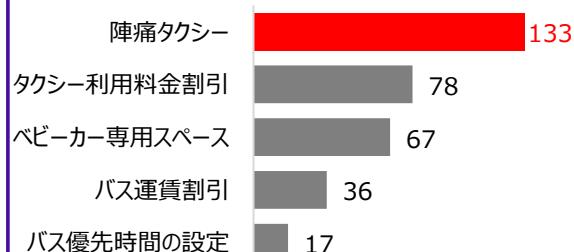
令和6年10月に開始した「妊産婦向けタクシーチケット交付事業」の事業構築に当たり、ニーズ調査を実施したところ、新たな課題として**陣痛時の移動に不安**があり、**陣痛タクシーを希望**される声が多数あつたことから、「**陣痛タクシーサービス事業**」の構築に至りました。

妊娠時の移動の不安



妊娠時の移動において、陣痛が不安な方が33%

移動に関して希望するサービス



移動に関して、陣痛タクシーを74%が希望

主な健診・分娩先の病院



全体の87%が、本町に隣接する市にある病院で分娩（車で30分以内）

広陵元気号の利用状況を含む公共交通施策の現況について(シェアサイクル事業)

概要

広陵町地域公共交通計画に定める将来像「笑顔で出かけられる町」を達成するため、従来の公共交通に加え、新たな移動手段として、レンタサイクル等の導入について検討することとしており、全国でシェアサイクル事業を展開している「HELLO CYCLING」の取組を、令和6年11月から北葛城郡4町で導入しました。本取組は町内周遊のためのラストワンマイルの課題解決にも資するものです。

利用実績

町	No	名称	区分	ラック	ラック数計	12月 貸出数	12月 返却数	1月 貸出数	1月 返却数	2月 貸出数	2月 返却数	3月 貸出数	3月 返却数	貸出数 総合計	返却数 総合計	開始後 総合計
広陵町	1	広陵町役場	町	5	55	1	1	1	2	2	0	3	3	7	6	13
	2	広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）		5		3	4	1	2	2	1	1	3	7	10	17
	3	広陵町立図書館		5		3	1	1	1	0	2	3	2	7	6	13
	4	広陵中央公民館		5		0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	2
	5	竹取公園		5		1	1	3	4	2	2	4	5	10	12	22
	6	百済寺公園		5		1	1	7	7	9	12	14	14	31	34	65
	7	はしお元気村		5		4	4	2	0	0	1	2	1	8	6	14
	8	牧野古墳		5		2	3	2	3	4	7	18	16	26	29	55
	9	東部農村広場		5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	真美ヶ丘メモリアル広場		5								7	4	7	4	11
	11	フィットイージー広陵店	民	5								1	2	1	2	3
	12	エコール・マミ(社内調整中)		調整中												
	13	イズミヤスーパーセンター広陵店(社内調整中)		調整中												
	14	スギ薬局真美ヶ丘店(社内調整中)		調整中												
広陵町合計						15	15	30	19	21	25	52	48	106	109	215

ステーション設置箇所

駅周辺

- 五位堂駅（設置済）
- 王寺駅（駐輪場に設置済）
- 佐味田川駅（駐輪場に設置済）
- 大輪田駅（駐輪場に設置済）
- 箸尾駅（今後 近鉄にて設置調整）



街ナカ

- 公共施設（役場、さわやかホール、図書館、公民館、元気村、メモリアル広場）
- 公園（竹取公園、百済寺公園、東部農村広場）
- 古墳（牧野古墳）
- フィットイージー（今後 エコマミ、イズミヤ、スギ薬局）

